

第2回浦添市まちづくりプラン賞決定

～こんなふうにしたらきっとステキな街になる～



公開審議のようす



まちづくりプラン賞を受賞した6団体

7月7日(土)市役所9階で「第2回浦添市まちづくりプラン賞」の公開審査が行われました。

これはまちづくりのプランを市民や団体が計画をし、市が支援するという事業です。今年の応募者は9団体。儀間市長は「浦添市はコンパクトでまちづくりするには適したまちです。まちづくりは市民のニーズにどう応えていくかが大きな課題。市民参加のまちづくり事業に協力いただき、みなさまには心から感謝いたします」と話していました。公開審査では5分間の持ち時間の中で、自分たちのプランを一生懸命説明しました。その後、12人の審査員から各グループに鋭い質問がありました。所定の時間をオーバーするほど白熱した審議の結果、最終的に6団体の受賞が決まりました。

7月16日(月)に市長応接室でまちづくりプラン賞の受賞式が行われました。池田孝之委員長(琉大教授)は「各グループとも優秀で選考が難しかった。皆さんはまちづくりの活動モデルとして啓蒙の一端を担っています。いい成果をだして来年発表してください」と講評しました。

来年は皆さんも参加して、自分の手でステキなまちづくりを体験しませんか？

問い合わせ
都市計画課

87611234(内線4015)

茶山自治会



代表者 大濱勝彦

助成金額 25万円

「浦添城址をホタルの里に！」をテーマに水生生物等を蘇らせ、夜空にホタルが飛び交うような自然豊かな環境づくりを目指します。具体的には小湾川の上流域で、茶山団地と前田地域との境目にある小湾川に注ぐ小さな水路を中心に清流を取り戻す活動を展開します。

勢理客自治会、獅子舞保存会、その他



代表者 具志堅全盛

助成金額 20万円

獅子舞は勢理客の伝統芸能で、市の無形文化財に指定されています。その獅子舞をモチーフに、地域内をはしる市道34号線(海銀勢理客支店からサン食品までの600m)にシーサーの置物を設置し、潤いのある住民参画型の道路景観作りに取り組みます。

宮城子ども会



代表者 喜舎場宗正

助成金額 26万円

「宮城再発見ワークショップ」「子どもたちと一緒に宮城を見つめてみよう」というテーマで、子ども会を中心に小湾川の川歩きを始めとして、宮城の歴史や緑などの自然をみんなで調べ、「宮城ってこんなところマップ」をつくります。最終的には「あの場所を改善したいな、この場所をすっきりと残していきたいな！」などまちづくりへの提案をします。

にしはら A G U R I 隊



代表者 棚原栄

助成金額 26万円

「コミュニティ・ガーデン(農園)をつくろう！」西原地内にある遊休地を、地域内外の人たちが土に触れあいながら交流の場となるコミュニティ菜園として有効利用し、地域活性化を図ります。その為に、農地探検マップの作成、ハルサー名人捜しなどのワークショップを行い、地域の農文化を再確認し、対象地を捜し土づくりから始めます。

浦添まちづくりトラスト活動研究会



代表者 安次富恵理奈

助成金額 10万円

「まちづくり活動ネットワーク」をテーマに住民活動の交流を通じて、地域に根ざしたパートナーシップによるまちづくり活動の活性化を目指す。「まちづくり活動マップ・人材リストづくり」や「みどりのまちづくり交流ワークショップ会議」を開催します。

オオゴマダラを楽しむ会



代表者 親富祖善繁

助成金額 8万円

オオゴマダラや他の飼育し易い蝶を野外で増やします。オオゴマダラは日本最大の蝶といわれそのさなは金色で美しく、ホーライカガミを食草として育ちます。また、市内の森や草原、水域で子どもたちと自然を楽しみ、自然のあり方を考えます。